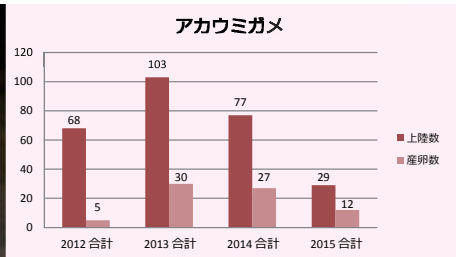
2015.9. 27発行
奄美野生生物保護センター
〒894-3104　鹿児島県大島郡大和村思勝字腰ノ畑551
TEL：0997-55-8620　FAX：0997-55-8621
URL：http://amami-wcc.net/

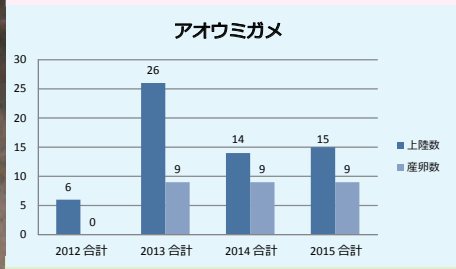
編集・発行
奄美自然体験活動推進協議会
通巻53号

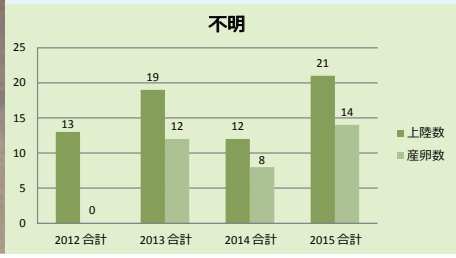
奄美野生生物保護センター
ニュースレター

奄美の風だより

アカウミガメ (photo by Katsuki Oki)





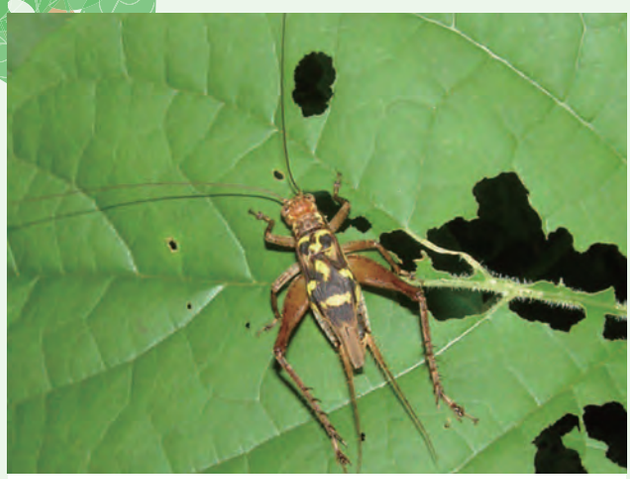


９月も後半となり、風は冷たくなり秋らしくなってきましたね。今年の夏を振り返ると、例年よりは過ごしやすい日が多かったかなと思います。そして台風が多かったですね。こんなにこっちに来なくてもいいじゃないか。そしてなんで週末にくるの!?と嘆かれた方も多いと思います。あと、50年に一度の大雨と何度も聞きました。すでに50年に一度ではないじゃん、とも思ったり。年を追うごとに異常気象が多くなってきたと感じますが、来年、再来年、5年後にはどんな異常気象が襲うのか。考えると恐ろしいです。

奄美海洋生物研究会と協力し行っているウミガメの産卵・上陸調査が8月末に終了しましたので、今年の結果をお知らせします。（センターで行っている調査地は大和村の12の浜です）上記のグラフをご参考下さい。今年のアカウミガメは一昨年の3分の1程度になっています。しかし、アオウミガメは去年とはほとんど変わりがありません。また、今年は種が特定できなかった不明も多いです。奄美大島での本格的な調査が始まったのは2012年ですので、今年の数は少ないのか、普通なのかはまだ分かりません。継続的な調査によって奄美でのウミガメの上陸・産卵の状況などが分かってきます。

（吉田）

今の時期に見られる動植物



マダラコオロギ
奄美大島以南に分布。林縁や林内の樹上に生息。シッ、シッ、シッと鳴く。普通に見られる。

スジブトヒラタクワガタ
奄美大島、加計呂麻島、請島、徳之島に分布。森林から海岸林までさまざまな場所で広く生息する。上翅に明瞭なスジがあるのが大きな特徴。

ヘクソカズラ
日本各地に分布。人里から山地に生える多年生のツル。葉や茎などに悪臭があることからこの名がついた。花期は９～１０月。

ヤブラン
本州以南に分布。海岸から山地に生える多年生草本。淡紫色の小さな花が総状に多数つく。花期は８月～１０月。

▲アメリカハマグルマが生えている場所は他の植物が生えていないのが分かる。

今季の一枚　「アメリカハマグルマ」

奄美群島ではここ数年で生育範囲を広げている外来植物です。南アメリカ原産の多年草。法面緑化や園芸のために持ちこまれました。茎は粗い剛毛を持ち、ツル状で地面を這うように伸びます。世界の侵略的外来種ワースト100に入っており、西表島では深刻な状況となっています。奄美でも最近問題視されており、駆除を行っている地域もあります。地面を這うように伸びるため、駆除作業がとても大変です。在来植物を守るため、オオキンケイギクやボタンウキクサのように、多くの地域で駆除を進めていく必要がありそうです。

参考文献　琉球弧野山の花（南方新社　写真と文：片野田逸朗）

奄美群島市町村だより

自分たちの地域の魅力を再発見し、また他の地域のことを知り、奄美の自然について理解を深めましょう。

今回は
大和村
です

滝川山

大和村は奄美大島の中央部に位置し、北は東シナ海、背後には緑深い山々が広がり、トカラ列島以南では最高峰となる湯湾岳がそびえ立っています。

大和村の花【タイワンヤマツツジ】

奄美大島以南に分布。花期は２～５月頃。低地の林縁や岩地に生育する。盗掘などで数を減らしている。

滝川山(たきのこやま)の国指定天然記念物「 オキナワウラジロガシ林 」

滝川山は大和浜集落の背後に位置する標高 214mの里山です。集落の人たちは滝川山をカミヤマとして崇め、樹木の伐採を禁じてきました。先人たちは山の木々が水源涵養林として水を育むとともに、渓流沿いの斜面を保護していることを経験的に知っていたのでしょう。

斜面を覆うオキナワウラジロガシ林は奄美大島が北限のブナ科の広葉樹林。人々の生活と深く関わりながらも巨木の群落が現存していることから、平成１９年には「大和浜のオキナワウラジロガシ林」として国の天然記念物指定を受けました。戦後の混乱期に森林の皆伐が進んだ奄美大島において集落に隣接していながらも貴重な植生を有する里山です。

オキナワウラジロガシ林までの道は整備されているため、誰でも見に行くことができます。大和村役場裏にある滝川山遊歩道を登ると林があらわれます。10 分ほど登ると、樹高 15m、幹周り 3.82m、直径約 1m もある巨木にたどり着くことができます。この巨木の周りには木道が設置してありますので、すぐ近くでその雄大な姿を見る事ができます。

また、オキナワウラジロガシのドングリは日本一の大きさですが、ここ数年不作でドングリをほとんど見ることが出来ませんでした。しかし、今年はもしかして豊作の年となるかもしれません。オキナワウラジロガシとそのドングリを是非見にいらして下さい。

【大和村　総務企画課】

いきもののふしぎ ～オットンガエルのお話～

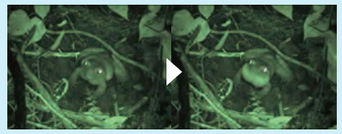
奄美群島のカエルの中で一番大きいオットンガエル。彼等にはおもしろい生態や特徴がたくさんあります。オットンガエルが生息している奄美大島と加計呂麻島の人々にとっては、とても有名なカエルでしょう。オットンガエルが生息していない島の方々にも、近くの島にこんなにおもしろいカエルがいることを知ってもらえればと思います。

ポイント

オットンガエルとは？

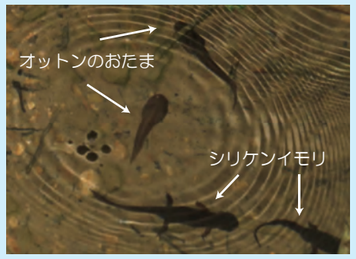
奄美大島と加計呂麻島のみに生息します。奄美群島で一番大きなカエル。「オットン」は方言で大きいという意味。県の天然記念物。絶滅危惧 IB 類（環境省第４次レッドリスト）。県レッドリストⅡ類。県の条例で捕獲・採取は禁止されています。森林伐採と外来生物のマングースによって数を減らしていましたが、現在はマングース防除事業の進展によりその数が減ったため数が回復傾向にあります。

オットンガエルの形態・生態



産卵巣からメスを呼ぶオス

低い土手に囲まれた 30ｃｍ
深さ ５ｃｍほどのくぼみを
掘って卵を産む



オットンガエルのおたまじゃくしはとても大きいです。上の写真を見て分かるように、シリケンイモリとあまり変わりません。また、おたまじゃくしは生まれた年の秋までに変態するか、越冬して翌年の５～６月頃に変態します。

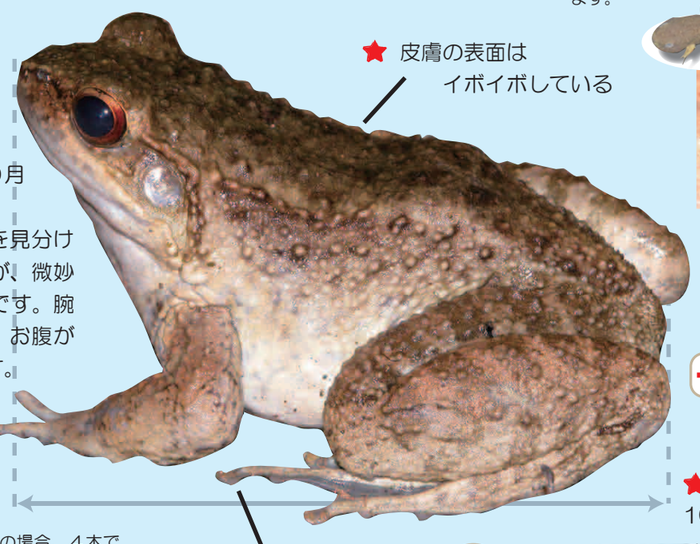
山地に生息している
産卵は渓流

グッグッグフォン

鳴き声 ♪

独特で、男性の咳ばらいのように聞こえることがあります。グフォンと鳴いたあとにクークークーと余韻がつくことがあります。オットンガエルの声だと知らないと、山奥から男の人の声が聞こえると思い恐怖を感じます･･･（個人談）。

▲オットンガエルの子ども



★ 皮膚の表面は
イボイボしている

★ 繁殖期は４月～１０月

★ オスとメスの違いを見分けるのは難しいですが、微妙な違いがあるそうです。腕が太いのがオスで、お腹が白いほうがメスです。

＋ 昔は喘息などに効くとされ食べられていました。

★ 前肢の指は５本

前肢の指は多くのカエルの場合、４本です。しかし、オットンガエルは５本もっています。これは世界的に見てもとても珍しい形態です。

★ 後肢の指は５本

★ 全長
100mm～ 140mm

エサはサワガニやカマドウマ、
オオゲジなど

指の秘密

オットンガエルは５本の指をもっていますが、この５本目の指にはある秘密がかくされています。

- この５本目の指にはトゲがかくれています。

では、この５本目の指はなんのためにあるのでしょうか？

- メスをめぐるオス同士の争いの時に使う
- オスがメスの脇腹にトゲを刺し、抱接を確実する
  抱接とは：カエルは体外受精しますが、その際に、オスがメスの背中の上に乗り、前肢でメスの腹を抱きかかえます。
- メスのトゲはあまり飛び出すこともなく、捕食者などに対抗するものではない

オスが５本目の指を抱接などに使うことは分かっているようですが、メスはなんのために持っているのかなど、まだ分かっていないことが多いのです。

写真集

オットンガエルのさまざまな表情、姿を紹介します。

写真協力：岩井紀子

参考文献　５本の指の謎～オットンガエルの拇指の意義とは？～（岩井紀子）山渓ハンディ図鑑９ 日本のカエル＋サンショウウオ（山と渓谷社　写真：松橋利光）
鹿児島県の絶滅のおそれのある野生動植物（鹿児島県　企画/編集：鹿児島県生活部環境保護課）

センター & 協議会 News

報告

奄美自然ふれあい行事 実施報告

毎年、夏休みに小中学生を対象に実施しています

① 足元の小さな自然をカメラで撮ろう

とき：7月27日（月）
場所：奄美野生生物保護センター周辺
カメラを使った観察会を実施しました。カメラを使うことにより、よりじっくりと生きものや風景などを観察することが出来ました。

② ゲットウでハガキ作り

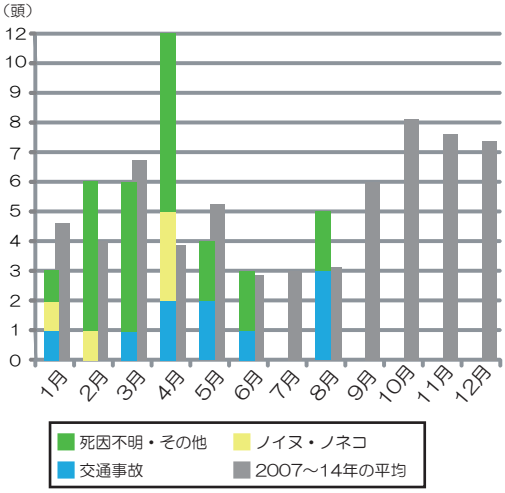
とき：8月3日（月）
場所：奄美野生生物保護センター
身近な素材であるゲットウと牛乳パックを使いハガキを作りました。ゲットウの良い匂いがするハガキが出来上がりました。

③ 鳥って、どんな〇〇だっけ？

とき：8月10日（月）
場所：奄美野生生物保護センター周辺
野鳥を観察するための基本を学んだあと、野外に出て野鳥観察を行いました。

アマミノクロウサギ死体確認数

（2015年 8月末日時点の
アマミノクロウサギの死体確認数と死因）



※アマミノクロウサギがケガをしていたり、死んでいるのを発見したら奄美野生生物保護センターまで連絡して下さい。

奄美に住む動物たちのために、あなたができること

安全運転

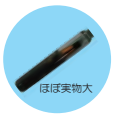
特に夜間の林道ではゆっくり走行しましょう。

犬・ねこの適正飼育

野生化した犬・ねこは、アマミノクロウサギをはじめとした「奄美の森の宝」を食べてしまうこともあります。

捨てない
最後まで責任をもって飼いましょう。

マイクロチップ
ペットの確実な身元証明になります。



避妊・去勢手術
繁殖制限することで、望まれない命を生み出さないことと、ペットの健康を守ることになります。

放し飼いをしない
ねこは室内飼育、犬は室内もしくはリードをつけて外で飼いましょう。

犬・ねこに関するお知らせ

繁殖を望まないのであれば、避妊・去勢手術をしましょう。 犬・ねこはたくさんの子どもを産みます。自由に繁殖できる状況では、あっという間に数が増えてしまいます。しかし、実際には飼える数というのは限られます。また、避妊・去勢手術をすることによって、性ホルモンの影響による病気のリスクがなくなるメリットがあります。

いきものおもしろ写真館

オットンガエル
落ち葉にまぎれてオットンガエルが顔だけ出しています。どこにいるか分かりますか？ヒントは右側のほうです。林道わきの水たまりにたくさんシリケンイモリがいたのですが、その中に落ち葉にまぎれて隠れているオットンが数匹いました。

編集後記

センター近くのイタジイにたくさんの実がなっていました。ここ数年は不作か例年より少ないかぐらいでしたが、久しぶりの豊作の年となるかもしれません。たくさんのドングリがなったらドングリご飯にしてみようかな？炒ってそのままでも美味しそう･･･。とてもとても楽しみです。

奄美自然体験活動推進協議会　〒894-3104　鹿児島県大島郡大和村思勝字腰ノ畑551 奄美野生生物保護センター
ＴＥＬ：0997-55-8620　ＦＡＸ：0997-55-8621　Email：amami_rabbit@public-yamato.jp　（事務局）大和村役場総務企画課
ＵＲＬ：http://www.vill.yamato.lg.jp/shizentaiken/default.asp